

室内用

RHYTHM

電波時計 取扱説明書

(掛時計)

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、当社お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

●修理部品の保有について

電子回路や歯車などの修理用性能部品は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただくことがあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。

Service and technical support for this product are available only within Japan.

製造販売元 **リズム時計工業株式会社**
〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12
http://www.rhythm.co.jp

お問い合わせ先 お客様相談室 **0120-557-005**

(フリーダイヤル)
受付時間 9:00～17:00 (土日、祝日および当社休日を除く)

お問い合わせに際しては、時計裏面に表示してあります製品番号(型番)をお伝えください。

例 4MY○○○、4MYA○○

(Y1601)

おもな製品仕様

| | |
|---------|---|
| 時間精度 | 標準電波受信成功直後の表示精度 秒針 ±1秒 時計/分針 目盛りに対して±3度 標準電波を受信しないとき 平均月差±20秒 (常温中のクォーツ精度) |
| 使用温度範囲 | -10℃～+50℃ |
| 使用電池 | 表示用:単3形アルカリ乾電池 JIS規格LR6 1.5V 4個 内蔵:リチウム電池 CR2032 3V 1個 |
| 電池寿命 | 表示用:約5年 内蔵:工場出荷時より5年以上(交換不要) ※標準電波の受信成功し、暗所秒針停止機能により1日当たり7時間秒針停止。 |
| 標準電波受信局 | 標準電波を受信して時刻を修正 福島局/九州局 自動選択 |
| 受信回数 | 最少 1回/日、最多 12回/日 |
| 受信機能 | ボタン操作でON/OFF切り替え |
| 手動時刻合わせ | ボタン操作 |
| 暗所秒針停止 | 明暗センサーと連動して、暗くなると秒針を12時位置に停止 |
| 電池の交換時期 | 交換時期になると秒針が常時12時位置に停止 |
| お知らせ機能 | |
| 防塵防滴機能 | なし |

標準電波受信開始時刻

自動受信による時刻修正回数は、最少1日1回から最多1日12回まで受信状況により変化します。

| 条件 | 回数 | 開始時刻 |
|-----------------------|--------|--|
| ▶ 受信成功から72時間以内の場合 | 1～3回/日 | AM 2:16:40, AM 3:16:40, AM 4:16:40 |
| ▶ 連続72時間以上受信に失敗している場合 | 12回/日 | 奇数時の16分40秒 例 AM 1:16:40, AM 3:16:40など |
| ▶ 初めから受信に失敗している場合 | | |
| ▶ 手動で時刻合わせをした場合 | | |

●製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

付属品

| | | | | | |
|--------|----|------------|----|----|----|
| お試し用電池 | 4個 | リチウム電池(内蔵) | 1個 | | |
| 木ねじ | 1個 | 取付金具 | 1個 | くぎ | 4個 |
| 取扱説明書 | 本書 | 保証書 | 1枚 | | |

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますのでご了承ください。

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明 ○は、禁止(してはいけないこと)を示しています。

●は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

警告

死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

● 誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない

● 万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

● 電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る

- 電池に傷をつけない。
- 電池を分解しない。
- 電池を充電しない。
- 電池を加熱しない。
- 電池をショートさせない。
- 電池を火の中に入れない。

● 電池から液漏れが起きてしまったときは、素手でさわらない

● 目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。

● 電池を外して、漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

注意

傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

● 電池の⊕⊖を正しく入れる
液漏れや発熱の原因となり、故障やけがの原因になります。

● 強い振動や衝撃を与えない
故障や破損の原因になります。

● サウナなど高温・高湿になる所では使わない
さびの発生や故障の原因になります。

● めれた手で触らない
故障や誤作動の原因になります。

● 分解や改造をしない
けがや故障の原因になります。

● 下記のような場所では使わない
精度の低下、部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。

- 直射日光が当たる所。
- 暖房機器などの風が当たる所。
- 温度が+50℃以上の所。
- 温度が-10℃以下の所。
- ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気が発生させる機器のそば。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- プール、温泉場などガスの発生する所。
- 調理場など多くの油を使用する所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 静電気により、時計や掛けた壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。

電池・時計の廃棄

- お住まい地区自治体の指定に従ってください。
- 電池と時計を分別して廃棄してください。

電池について

電池の種類について

- マンガン乾電池はアルカリ乾電池に比べて電池寿命が短くなります。
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

電池の寿命について

- 付属の電池は、工場出荷するときに入れていますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。

電波時計について

電波時計とは

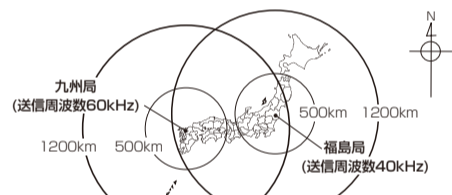
クォーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。標準電波送信所は、福島県の「福島局:おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局:はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。

ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。

※標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://jiy.nict.go.jp)



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。海外でのご使用になるとときには、電波受信機能をOFFにして手動で時刻を合わせてお使いください。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など
- 高圧線、テレビ塔、電車の架線近く
- 電波障害の起きる所
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- 家電製品やOA機器の近く
- 地下、ビルの中、ビルの谷間など
- スチール机等の金属製家具の上や近く

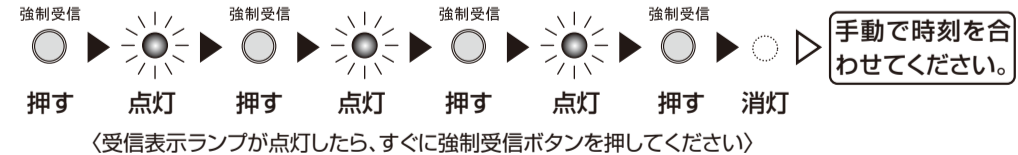
電波受信機能のON/OFF切り替え操作

誤受信しやすい所で使用する場合や意図的に時間をずらしてお使いになるとときには、電波を受信しないようにすることができます。この場合、時間精度はクォーツ精度になります。

■電波受信機能をOFFにするには(電波を受信しない)

図のように強制受信ボタンを4回押します。ボタンを押すタイミングによっては、OFFに切り替わらないことがあります。このようなときには、操作を繰り返してください。

※電波受信機能がOFFのときに強制受信ボタンを押すと、受信表示ランプは消灯したままで、針が早送りで動いたり、止まったりしてから時刻を表示します。



■電波受信機能をONにするには(電波を定期的に受信する)

工場出荷時の設定は、電波受信機能はONになっています。

時刻合わせボタンを押したまま、強制受信ボタンを押してすぐ離し、時刻合わせボタンを離します。その後、必ず強制受信ボタンを押して受信を開始させてください。



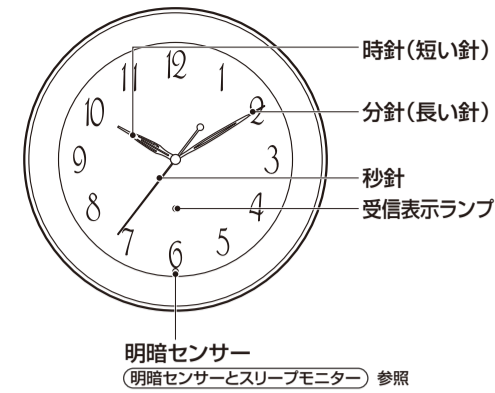
ご注意

※この説明文の中で「押し」は、「押して、すぐ離す」ことです。

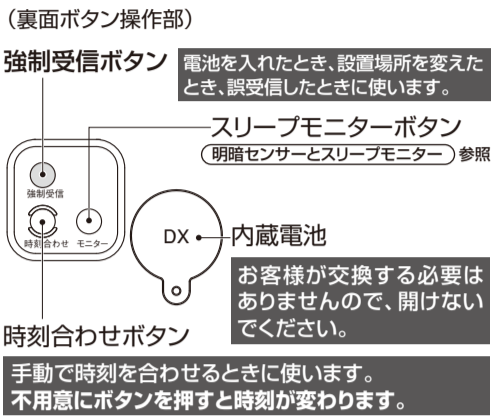
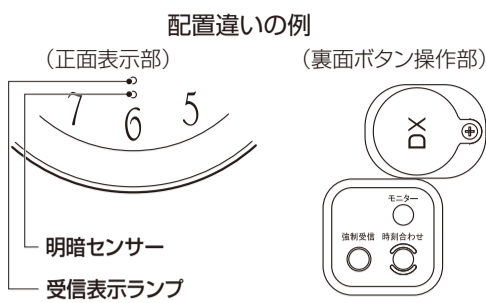
※表示用電池を取り出しても設定を保持していますので、電波受信機能をOFFからONにするには、必ず上記の操作をしてください。

各部の名称と役割

○図は操作説明用ですので、実際の商品と異なることがあります。

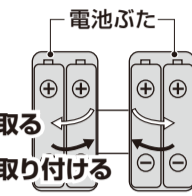


商品の種類により、明暗センサーや受信表示ランプの位置、裏面の配置が異なることがあります。



電池の入れかた

時計裏面の電池ぶたを取り外して、電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて電池を入れ、電池ぶたを取り付ける。



単3形アルカリ乾電池4個

通常の針の動き

時計・分針: 10秒に1回動きます。
秒針: 滑らかな1秒ステップ。
※自動受信で時刻を修正するときは、順方向または逆方向に早送りしたり、停止することがあります。

内蔵電池による時刻のバックアップ

この時計は、工場出荷時に電波を受信させ、内蔵電池により時を刻み続けています。

また、内蔵電池により受信を試み、受信に成功した場合、時刻を修正しています。

表示用電池を入れて強制受信ボタンを押すと、およそ3分以内に時刻を表示します。

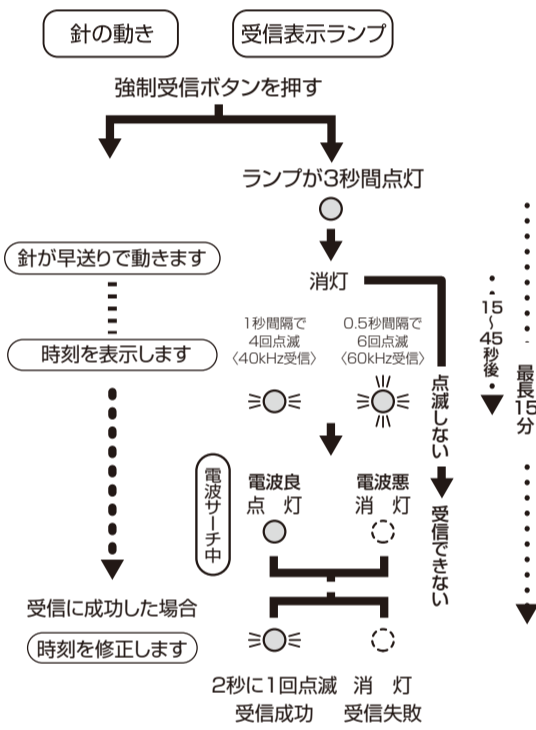
表示用電池を取り外したり電池切れのときには、内蔵電池に切り替わります。

※内蔵電池のみでは、針による時刻表示をしません。

※表示用電池により時刻表示をしているときには、内蔵電池をしません。

※電波受信機能が「OFF」のときには受信を行いません。

標準電波一受信の流れとサーチ機能の使いかた



電波サーチ機能は、受信表示ランプの点灯または消灯により、時計がある場所の電波状態をお知らせします。

サーチ機能を使用するときの手順

- 窓際やベランダなど電波の受信しやすいところに時計を移動させます。
 - 強制受信ボタンを押します。受信表示ランプが約3秒間点灯後に受信を開始。針は早送り移動し、時刻を表示します。
 - 受信局を表示後、受信表示ランプが点灯したら、設置したい場所に時計を移動します。
 - 電波状態を確認します。
点灯: 電波良好 → 受信できる可能性大
消灯: 受信できない → 時計を移動させてください。
- 点灯と消灯が繰り返される場合は電波が弱いです。受信に失敗する可能性があります。
- 電波サーチ中に、時計の向きや位置を変えると受信表示ランプの状態が変化します。
- ⑤ 受信結果を表示します。
受信成功: 2秒に1回点滅
受信失敗: 消灯

○受信に成功してもノイズにより誤った時刻を表示することがあります。このようなときは、場所を変えて強制受信ボタンを押してください。

○受信に失敗している場合は、表示されている時刻は正しくありません。

○受信表示ランプは、受信に成功すると最長で24時間表示を続けます。

標準電波を受信できない場合

●朝までそのまましておく

一般的に夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくことで受信できる可能性が高くなります。1~2日後に受信結果を確認してください。

●場所を変える / 受信をやり直す

電波の受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考に、時計の正面または裏面が電波の送信所に向くようにして、強制受信ボタンを押して再度受信を行ってください。

●時刻を合わせて使用する

ベランダなど屋外で電波の受信に成功させるか、手動で時刻を合わせて使用してください。電波が受信できないときの時間精度は、クォーツ精度になります。

手動での時刻合わせ 電波が受信できないとき、任意の時刻に合わせるとき

時刻合わせボタンを操作することにより、手動で時刻を合わせることができます。この時の時間精度は、クォーツ精度になります。

※時刻合わせボタンを離しているのに、針が早送りで動いている場合は、通常の針の動きになってから操作をしてください。

※電波受信機能が「ON」のときは、受信に成功すると時刻を修正します。

裏面 **電波受信機能のON/OFF切り替え操作** 参照。

操作 ○時刻合わせボタンを押してすぐに離すと1分進みます。

○時刻合わせボタンを押し続けると早送ります。このとき秒針は停止します。

秒針の動きについて

時刻合わせボタンを離したとき、ゼロ秒に設定されます。秒針が早送り動いているときに、時刻合わせボタンを離すと、そのまま早送りで現在時刻の秒位置まで動きます。

静電気の影響について

静電気により、誤作動をすることがあります。このようなときには、強制受信ボタンを押してください。

使用方法 電池を入れて時刻を合わせる

標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせる場合は、**手動での時刻合わせ** を参照してください。

○窓際など電波の受信しやすい所でお使いください。

この時計は時刻を合わせて出荷しています。表示用の電池を入れて強制受信ボタンを押してから時計を掛けてください。

- 表示用の電池を電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて4個入れる
⚠注意 電池を逆向きに入れると、電池の液漏れ・発熱・破裂の原因となります。
- 強制受信ボタンを押す **標準電波-受信の流れとサーチ機能の使いかた** 参照
受信表示ランプが点灯して受信を開始します。
針が早送り移動を開始し、およそ3分以内に時刻を表示します。
※電池を入れた後は必ず強制受信ボタンを押してください。
※受信中はボタン操作を行わないでください。
- 時計の掛けかた** に従い、時計を確実に掛ける
- 受信開始から15分経過してから受信表示ランプで結果を確認する
受信成功: 2秒に1回点滅
受信失敗: 消灯 → **標準電波を受信できない場合** へ

時計の掛けかた

⚠注意 掛けかたが不適切な場合、時計が落下する危険があります。

○掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け部に掛け具(木ねじ)がしっかり掛かっていることを確認してください。

○垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れるおそれがあります。

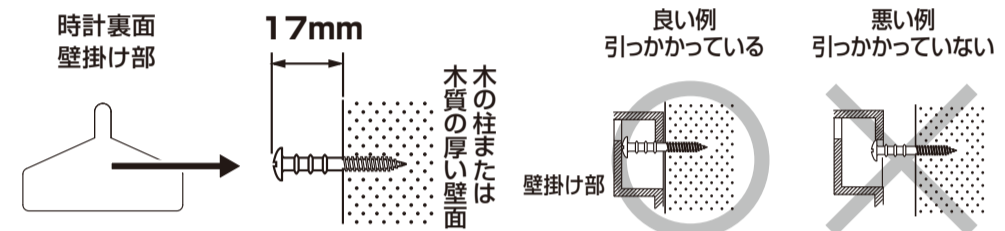
○市販の掛け具を使用するときは、壁掛け部にしっかり掛かるものを選んでください。

○ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に設置してください。

木の柱または木質の厚い壁面の場合

●付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。

●木ねじは下図のとおり、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。



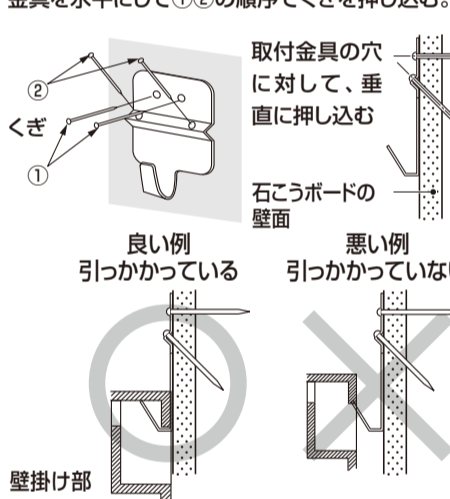
石こうボードの壁面の場合

●付属の取付金具を使用できる場所は、石こうボードの壁面です。

●取付金具は下図のとおり、付属のくぎ4本でしっかり固定してください。

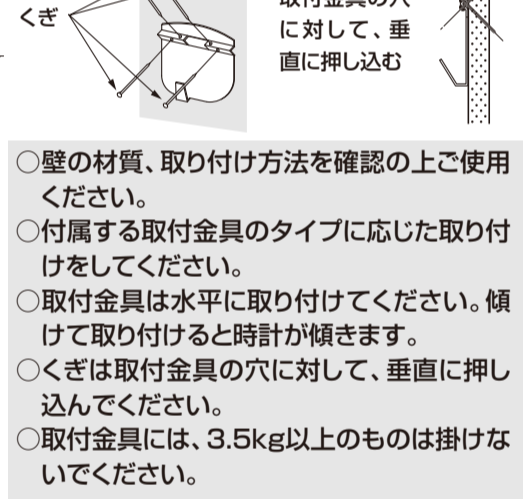
取り付けかた 取付金具 タイプA

金具を水平にして①②の順序でくぎを押し込む。



取付金具 タイプB

くぎ 取付金具の穴に対して、垂直に押し込む



- 壁の材質、取り付け方法を確認の上で使用ください。
- 付属する取付金具のタイプに応じた取り付けをしてください。
- 取付金具は水平に取り付けてください。傾けて取り付けると時計が傾きます。
- くぎは取付金具の穴に対して、垂直に押し込んでください。
- 取付金具には、3.5kg以上のものは掛けないでください。

その他の壁面の場合

●コンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、粘着式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

明暗センサーとスリープモニター 暗くなると秒針が止まる

明暗センサーが暗いと判別した場合、受信表示ランプが消灯し、秒針を12時位置で停止させます。

屋間や照明器具により照明されているときでも、明るさが不足するとセンサーが働きます。

スリープモニターは、センサーが暗いと判別したときの状態を再現します。秒針が55~59秒位置にあるときに、スリープモニターボタンを押してください。秒針が12時位置に停止します。スリープモニターボタンを離すと秒針は、現在時刻位置に移動します。

電池の交換時期お知らせ機能 常時秒針が止まる

電池の交換時期になると、明るい所でも秒針が12時位置に停止したままになります。

時計と分針は電池の交換時期になってからおおよそ1ヵ月前後動きます。

⚠注意 電池の交換 早めに交換して液漏れを防ぎましょう

電池を長期間使い続けると、電池からの液漏れが発生しやすくなります。電池が液漏れを起こすと時計の修理や壁面の修繕などに費用が発生することがあります。

電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために次のことをご守りください。

- 時計が停止したときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
- 時計が動いていても5年に一回定期的に交換する。
- 古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混在して使用しない。
- 電池の⊕⊖を逆にしない。



推奨される電池

- 電池に「月一年」で表示されている「使用推奨期限」が電池交換時より4年以上先のもの
例. 2020年2月に交換→「03-2024」より先の「使用推奨期限」表示がある電池
- 同一メーカー、同一種類、同一「使用推奨期限」のもの
- 未使用の単3形アルカリ乾電池

条件を満たさない電池を使用すると、電池寿命が短くなったり、液漏れの原因になります。

「使用推奨期限」は、JIS規格に定められた性能を保証できる保管期限のことです。使用推奨期限を過ぎた電池も使えますが、本来の性能を発揮することができません。電池は未使用であっても時間とともに徐々に性能が落ちていくためです(自然劣化)。

